市政記者クラブ様

緑政土木局河川部河川工務課 担当 藤岡・勝山(972-2895)

# 土壌汚染の報告について

当局事業中の大高南二号調節池保全工事(緑)(週休2日)において、浚渫に伴う土壌調査を行った結果、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例(環境保全条例)に基づき定める基準の値を超える物質が検出されました。

令和7年2月4日に環境局へ報告しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

### 1 検出場所

緑区南大高一丁目地内(大高南二号調節池)

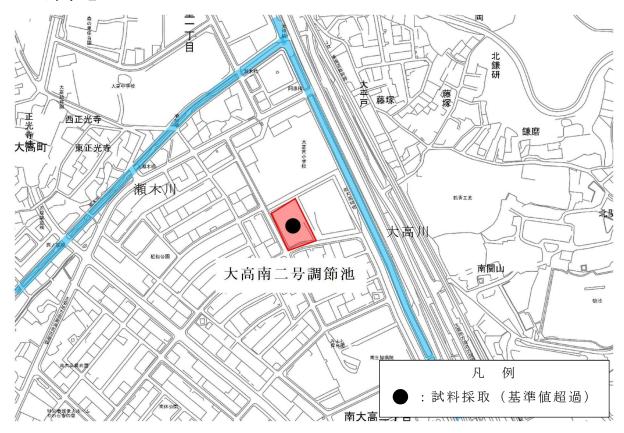
## 2 汚染の状況

項目	汚染物質	基準を 超えた濃度	基準に 対する倍率	基準	基準超数 /調查数
土壌溶出量調査	ふっ素及び その化合物	1.0mg/L	1.25 倍	0.8mg/L 以下	1/1

## 3 今後の対応

当面の措置や今後の対応について、環境局と十分に協議を行い実施していきます。

### 4 対象地



<参考>基準を超過した物質の毒性について

### 【ふっ素及びその化合物】

急性毒性: NaF を 6mg/日以上摂取し続けていると、ふっ素症となり、体重減少、悪心、嘔吐、便秘等をきたす。SiF4 では、胃軟化症、神経痛等を起こす。一般成人が一度に 100mg 以上摂取すると、腹部の激痛、嘔吐、悪心を起こし、2,500mg 以上の摂取で中毒死する。

\*100mg は、今回の土壌溶出量の汚染物質濃度 (1.0mg/L) では、水 100L に含まれる量になります。

慢性毒性:ふっ化物で中毒したラットの場合、腎臓における脂肪酸酸化酵素 活性が著しく減少し、また、肝臓中の窒素及び脂肪含量が減少する ことが見い出されている。また、ふっ素中毒では、炭水化物の代謝 障害も見られている。飲料水等からふっ素を長期間過量に摂取した 場合、飲料水のふっ素濃度 2ppm 以上で斑状歯を生じ、8ppm 以上で 骨硬化症となる。

発がん性:動物実験で発がん性を示すデータがない。

出典:日本環境管理学会「改訂4版水道水質基準ガイドブック」 (下線部分は、名古屋市において挿入しました。)